

サマーキャンプ中学生の翼

たくさん体験と

思い出とともに帰国

小野町では、国際化時代に対応する人材の育成を目的として、中学生の海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」を実施しています。

十三回を迎えた今年は、団員十四名・引率者四名の十八名が、七月二十三日から八月七日までの十六日間にわたり、アメリカ合衆国ニュージャージー州グリーンロック町でのホームステイ、ニューヨーク州ヒルトップ町でのキャンプ活動を行ってきました。

初めての外国での生活を送りながら、ホームステイでの英会話やキャンプ活動での集団生活の実践をおとして、貴重な体験を積んできました。

今月号と来月号の二回にわたり、研修報告を掲載いたします。

団長（教育課長）

野川 初雄

「サマーキャンプ中学生の翼」事業は、町内の中学二年生を対象に海外へ派遣し、アメリカの文化に触れながら体験を通して国際感覚を培い、豊かな人間形成を図ることを目的にこれまで実施されているものです。

グリーンロック町役場で



今年、七月二十三日から三十日までグリーンロック町のホームステイ、そして三十一日か

ら八月六日までをヒルトップでのキャンプステイとしました。男子四名、女子十名の団員と引率者四名、総勢十八名の団長を命ぜられ、七月十四日、春山町長、大和田議会議長から激励の言葉をいただいたの結団式を行いました。

派遣に当たり、数回にわたる事前研修を積み重ね、男子二班、女子二班にグループを編成し、各班それぞれがアメリカの文化・歴史・生活の違いなどの体験をするため計画を立案し、七月二十三日の朝町長ほか多くの方々のお見送りをいただいたの出發式が行われ、一路グリーンロック町を目指しました。

到着した日は、グリーンロック町長、教育委員、ホストファミリー、そして、以前小野町でホームステイを経験した人達多数に迎えられ盛大に歓迎をしていただきました。席上ホストファミリーを紹介され、団員が家族の一員として迎えられ、親しみを感じると共に、この姿こそが国際交流かと感激いたしました。

また、地元の新聞記者のインタビューを受け翌日の新聞に写真入りで大々的に掲載されました。ホームステイ期間中は、町の公共施設見学、ニューヨーク市街見学（特に国連本部、自由の女神など）、海水浴、町民プール等々、日を追うごとにホストフ

ファミリーの人たちとも慣れ親しみ、片言の英語でも相手に伝わり、言葉の壁を越えて笑い声も聞かれるようになりました。送別会では、今までの真心こもったもてなしに、涙ながらも別れに私もホストファミリーのみなさんに感激しつつ強く胸を打たれるものがあり、言葉や文化は違っても人との出会い、ふれあいに感慨深いものがありました。

キャンプ場では、最初あらゆる面での戸惑いもありましたが、インストラクターの方々の丁寧で親切な身振り、手振りでの説明・指導により、自然と団員たちも慣れてキャンプ場のスケジュールのほかに我々のための特別なスケジュールを組んで頂き、思い出多い有意義なキャンプ生活を送れたことと幸いです。

団員たちは、片言の英語で実に陽気に積極的に話しかける態度には驚き、また研修期間中、誰一人として体調を崩すこともなく元気です。しかも規律ある団体生活、行動が取れたことは、団長として団員各位に特に感謝したいと思います。ほとんどのことが初

体験であり、心に残るものが多くあったことと思います。団員たちにとって自分自身の貴重な財産としてこれからの人間形成をしていく上で大いに役立てて頂きたいと思っております。

最後に、同行していただいた小野中学校伊東先生、パトリシア先生に心から感謝申し上げます。

クリスティン先生のご両親と

